

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に関しては、研修の機会があれば参加したり、ミーティング時に話し合いを実施し、共通理解に努めてきているが、身体拘束適正化のための対策を検討する委員会の場を改めて設けること。	身体拘束委員会の定期的な開催の必要性から、運営推進会議と共に開催する。	身体拘束委員会を運営推進会議の際に開催し、議事録を作成すると共に、職員への周知を徹底する。	3か月
2	33	終末期の希望については、家族に事前に聞き取りをしながら話し合いを実施しているが、職員内での知識や経験の差、限られた訪問看護では対応が難しく、希望に沿えていない。	可能な限り、最期まで安心してその人らしい生活を継続し、関係機関とも円滑に連携を図りながら、職員個人、事業所としての質を高めていく。	訪問看護師による勉強会や外部研修等を通して、知識を深めていく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。